



フラタナス

新宿区立四谷中学校 学校だより 第5号 令和7年7月18日
校長 安田 昭仁

本日の終業式をもって1学期の活動を終わりました。4月からを振り返れば、運動会、修学旅行に女神湖移動教室など、大きな行事を予定通り実施することができました。保護者、地域の皆様、そしてPTA役員会の皆様のご協力に感謝しております。1学期の生徒の様子を振り返ってみると、3年生は一人一人が自身の進路に対する意識を高めています。また、2年生は部活動や委員会活動、学校行事の運営に、先輩らしく振舞っています。1年生は毎日元気に中学校生活を過ごしています。しかし、一人一人の生徒に視点を移すと、それぞれ悩みや不安もあるのだらうと思います。そうした点も踏まえ、先日の三者面談を通して、夏休みを、そして2学期以降の学びをより良いものにできるよう、保護者の皆様と共通認識をもってまいります。

この夏休みの期間、従来のような宿題は出しません。生徒たちがそれぞれ自分自身でよく考えて、学習、体験、復習、読書、趣味等に、有意義な時間を過ごしてほしいと思います。感染症予防、熱中症対策、災害回避、水の事故や交通安全等に留意され、ご家族皆様、良い夏休みをお過ごしください。

8月9日(土)から17日(日)までの期間は週休日及び休暇取得促進週間となり、学校への連絡はつながりなくなります。その期間、緊急の場合は新宿区役所 03(3209)1111 にご連絡ください。また、お子様・保護者様が学校の教職員以外に相談したい場合等、

「教育相談一般・東京都いじめ相談ホットライン」0120(53)8288 ※24時間対応

「24時間子供SOSダイヤル」0120(0)78310 ※24時間対応

「こころといのちのほっとライン」0570—087478 ※12時～翌朝5時30分 などもあります。

通知表について

本日、通知表をお渡ししました。通知表に記載されている「観点別学習状況の評価」「評定」は、生徒にとっては今後の学習の改善に、教員にとっては「指導と評価の一体化」をめざした指導方法の改善に生かすためのものです。所見は3学期末において一年間の活動を総括した総合所見を記載いたします。

新苑学級三校交流ドッチビー大会

7月3日(木)、新苑学級では新宿中学校、西新宿中学校の仲間たちとの三校交流会に行きました。恒例のドッチビー大会、三校の仲間たちとの合同チーム(4チーム)で合計6試合をしました。とても速くフリスビーを投げる人、それを上手にとる人、素早く身をかかわす人など、それぞれの持ち味を生かし、フォローし合いながら楽しい時間を過ごしました。

会場となった新宿中学校の皆さん、準備から片付けまでしてくださり、ありがとうございました。



令和7年度平和のポスター展

最優秀賞:〇〇 〇〇 さん(3年)

※作品は9月16日から9月25日の期間、四谷特別出張所に展示されます。

屋外の部活動について

今後も酷暑日、熱中症アラートが発出される日が予想されます。特に、校庭で行われる部活動については、WBGT(暑さ指数)及び熱中症アラートなどにより、急遽、活動中止とすることがあります。ご理解のほどお願いいたします。

職場探究フォーラム

「自分に向いている仕事なんてあるのだろうか」「自分は何がしたいのだろうか」と、悩みが尽きない人もいるでしょう。考えているうちに自分でも説明できない不安感が募ることもあります。



今年も四谷地域を中心に、多くの特別講師の方に来ていただきました。「仕事で困難を乗り越えたときの達成感・仕事の面白さ」、「どうやってその仕事に就いたか」など、豊富な経験から多くの実りある話を聞くことができたことでしょう。

「もっと調べてみたいな」「気になるな」と思ったことをすぐ調べてみよう。自分から動き始めた人のパワーはどんどん大きく強くなり、やがて未来を切り拓くための原動力となっていきます。【〇〇】

【ご協力くださった業種】

マジシャン・保育士・飲食(ラーメン)・メディア/イベント・指揮者・不動産・鉄道・警察・建築士・芸人・ダンサー・AI開発・映像プロデューサー・芸能・音楽プロデューサー・建築・スポーツ

【生徒の感想】(抜粋)

○指揮者は真ん中で立っているから一番偉いと思っていたけれど、演奏者をまとめる学校の先生のような存在であることが分かった。(指揮者) ○時代は進化し、その新たな価値観を受け入れることによって、自分も進化できると感じた。(AI開発) ○ファンさんが言っていた「人としてしっかりする」ことは、スポーツをしていない私にも大切なことで、マナーやルールを守れるような大人になりたいと思った。(スポーツ)
○あきらめずに継続することが大事と教えてもらい、夢を諦めずに追いかけていこうと思った。(芸人)

“修学旅行におけるスマホの扱いに関するアンケート”回答まとめ

先日お願いしました、スマホに関するアンケートにご協力くださり、ありがとうございました。集計結果の概要を以下に記載します。 回答数:14(持参した:11・持参しなかった:2・未記入:1)

【スマホ持参について】

適切だった:10 概ね適切だった:2 適切でない面があった:2 適切でなかった:0

【良かった面】

写真撮影と家族との共有、災害やはぐれたときの安心材料、子どもの位置情報確認、子供と親が連絡できたことは安心、行程のリアルタイムでの把握、地図や調べ物がすぐにできた、万博の当日予約などできた、旅先でのスマホ活用の学習のよい機会だった、このご時世で現実的な判断だった、電子マネーのため多額の現金をもつ必要がなかった、親族への写真付きのメッセージ、オリジナルアルバムの作成、友だちの撮る画像で会話が弾んだ

【良くない面】

皆ルールを守っていたようで特段の課題はなかった(3名)、SNSのやり取りに懸念があったがこの学年はネットリテラシーを理解していると感じた、紛失のリスクも含め自己管理の練習、旅行とは関係ないゲームなどをしてしまう心配があった、夜におしゃべりを楽しみにしていたがケータイばかりいじっている子もいて残念なこともあった

【その他】

各学校や家庭でルールがあると思うが、子どもたちの自主性を信じたことに感謝
持参する子、しない子もいたと思うが上手く使えばとてもよいのでルールを決めれば今後もよいと思う
準備から旅を終えるまで紆余曲折だったようだが、それもよい経験だった
大きなトラブルもなく楽しい修学旅行だったようだ
友達との写真だけでなく先生方との写真も残すことができた
土地勘のない場所での子どもたちだけの行動にスマホがあるのは大きな安心だった
持参して写真などの思い出を残せたお子さんと、そうでないお子さんとの差が出てしまった

【ペーパーレス化へのご協力のお願い】

2学期より、学校からの配布物はペーパーレス化の観点から、原則として“すぐーる”による配信のみとします。逆に“学級だより”“すきやき”は紙のみの配布といたします。“すぐーる”に未登録の場合は登録いただくか担任までご相談ください。